

甲斐市溜池ハザードマップについて

『溜池ハザードマップ作成の目的』

- ・ 近年、大規模な地震や豪雨が頻発しており、今後多くの災害発生が危惧されています。
- ・ 東日本大震災では、東北地方を中心にため池や排水機場などの農業水利施設が被災し、地域住民の生命や財産に甚大な被害が発生しています。
- ・ 溜池は、農業用水確保のためばかりでなく、地域環境の保全や生活用水として、また火災時の水源確保や洪水調整池など地域の防災施設として多面的機能を有し役立っている施設です。
- ・ しかし、溜池の中には老朽化が進み耐久・耐震性などに不明な施設が多くあり、現状を確認し施設強化の整備を進めることが必要となっています。
- ・ 溜池の耐久・耐震強化を行うためには多額の費用と時間を要するため、甲斐市では溜池はん濫シミュレーションによる浸水想定区域を『溜池ハザードマップ』で示すことにより、地域住民の居住環境を共有的に把握し、自主防災・減災対策への意識を持って貰う為作成しました。

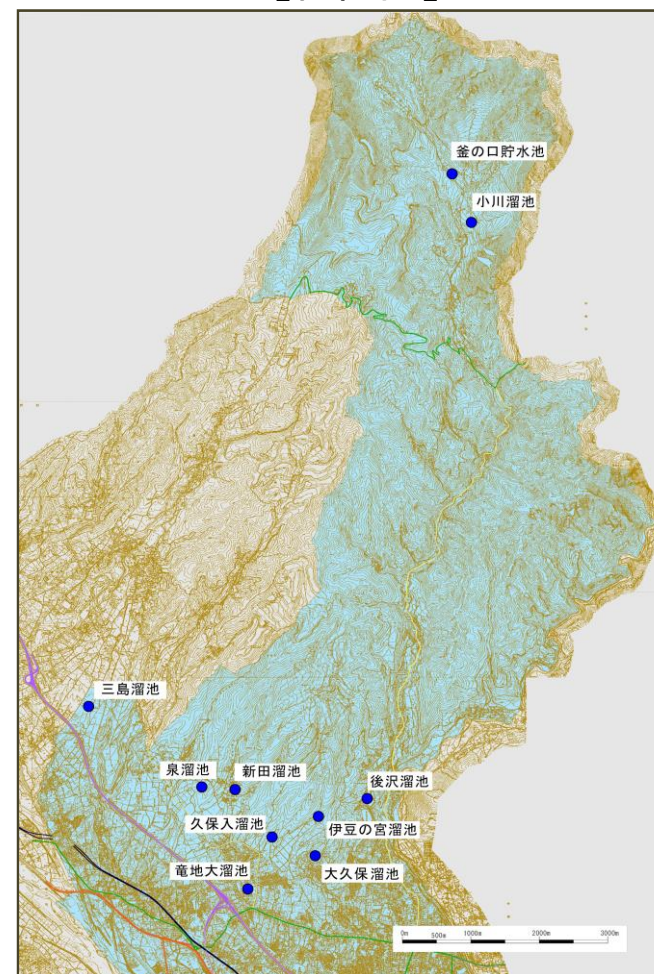
『対象溜池の情報』

【諸元】

池名	貯水量	堤高	備考 (水利管理者)
泉溜池	13,000 m ³	6.0m	菖蒲沢区
三島溜池	10,000 m ³	5.9m	駒沢区
竜地大溜池	29,000 m ³	4.7m	竜地早害対策期成同盟会
大久保溜池	5,000 m ³	6.7m	大久保区
新田溜池	41,800 m ³	9.6m	楯無堰土地改良区
伊豆の宮溜池	30,000 m ³	7.2m	大笠水利調整会
久保入溜池	15,000 m ³	8.8m	大笠水利調整会
小川溜池	11,000 m ³	11.8m	小川溜池水利管理者
釜の口貯水池	3,000 m ³	4.7m	釜の口貯水池水利管理者
後沢溜池 (矢木羽湖)	213,000 m ³	26.0m	荒川沿岸用水水利組合

諸元値は溜池はん濫シミュレーションで採用した値
 貯水量：「山梨県溜池台帳」、堤高：平成26年3月計測時点

【位置図】



『溜池はん濫シミュレーションの仮定』

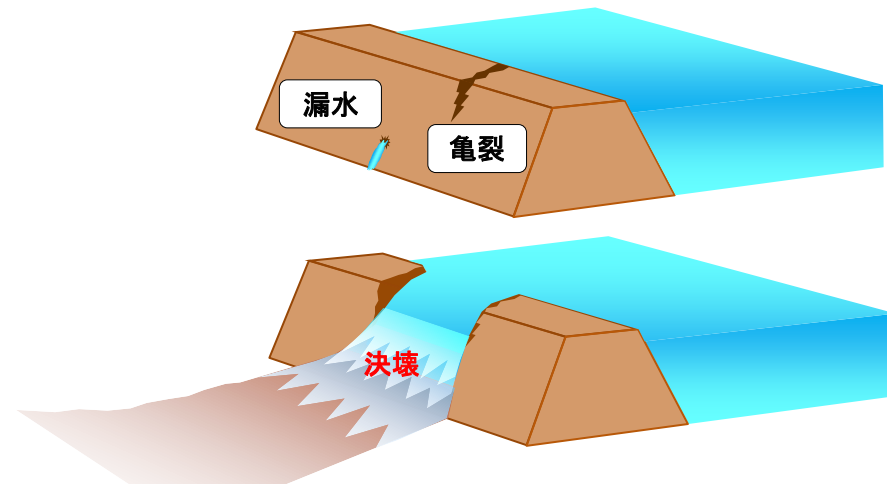
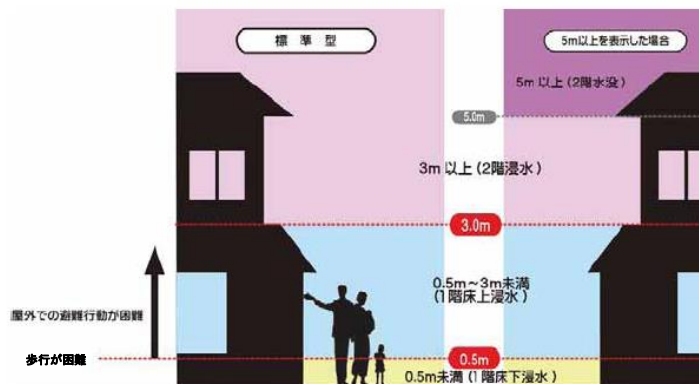
① 堤体の破損

- ・地震や豪雨、経年劣化（老朽化）などによるダメージで耐久・耐震性が低い状態。
- ・堤体に洗掘、歪み、亀裂、漏水などが発生。

② 堤体の破壊

- ・破損している堤体が、大規模地震や豪雨時に貯水に耐えきれず瞬時にため池底部まで破壊され、全貯水量が流出したと仮定。

③ 浸水深区分の色分け



0.5m	大人の膝までつかる程度	流速が 1.5m/秒を超えると避難不可能
1.0m	大人の腰までつかる程度	流速が 0.5m/秒を超えると避難不可能
2.0m	1階の軒下まで浸水する程度	避難不可能
3.0m	2階の床下まで浸水する程度	
5.0m	2階の軒下まで浸水する程度	

※ 大人の歩行は、水深 0.2m程度で困難となるため、黄着色で区分を追加表示。

『ハザードマップの留意点』

- ・このハザードマップは、甲斐市に影響を及ぼすと考えられる溜池の堤体（堤防）が決壊した場合に、住民の皆さんの避難に役立つよう作成したものです。
- ・雨の降り方や地震の状況によって、決壊箇所などの条件も異なりますので、浸水予想区域が実際と異なる場合もあります。
- ・また、大雨の時には、溜池以外に河川や水路などによる氾濫が発生することも十分に考えられます。
- ・このハザードマップを見て、自分の家が浸水予想区域に入っていないからといって、決して安心はできません。
浸水予想区域内にお住まいの方はもちろんのこと、それ以外の場所にお住まいの方についても浸水に備えて事前に避難所や避難地、避難経路を確認しておきましょう。
- ・ハザードマップの浸水予想区域は、溜池の堤体（堤防）が決壊した場合、各地点の最大浸水深を色分けで表示しています。